

令和6年度漁業担い手満足度調査報告書の概要

令和7年11月
岩手県農林水産部
水産振興課

1 調査の概要

- (1) **調査目的** 本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。
- (2) **調査対象者** ①岩手県漁業士83名（青年漁業士14名、指導漁業士69名） ②若手漁業者100名（着業10年未満の漁業者）
- (3) **調査方法** 設問票及びWebによるアンケート調査（総合満足度及び個別満足度30項目）
- (4) **対象期間** 令和5年11月～令和6年10月
- (5) **実施時期** 令和6年11月～令和6年12月
- (6) **有効回答数** ①岩手県漁業士46名（回収率55.4%） ②若手漁業者26名（回収率26.0%）
- (7) **総合満足度** 総合満足度は、「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「ふつう」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」の7段階評価とした。
- (8) **個別満足度** 項目ごとに、「そう思う」、「まあ思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階評価とした。
- (9) **総合満足度の構造分析**
個別満足度の各項目の評価が総合満足度の評価にどう関係するかを分析するため、満足度（個別満足度の各項目の評価）と重要度（個別満足度の各項目のうち、どの項目が総合満足度に影響を与えているか）を算出し、個別満足度の評価が高く、かつ総合満足度への影響が強い『重要項目』と、個別満足度の評価が低いが、総合満足度への影響が強い『課題項目』を分析した。

2 総合満足度の推移

- (1) **回答者全体**
・今回の調査では、回答者数72人全てが有効回答であり、総合満足度は-0.07点と令和5年度よりも低下し、過去最低の数値となりました（図1）。
- (2) **漁業種類別**
・漁業種類別の総合満足度は、漁船漁業が-1.00点、養殖業が0.13点、採介藻漁業が0.00点となり、前回の調査と比べて、全ての漁業種類で低下しました（図2）。

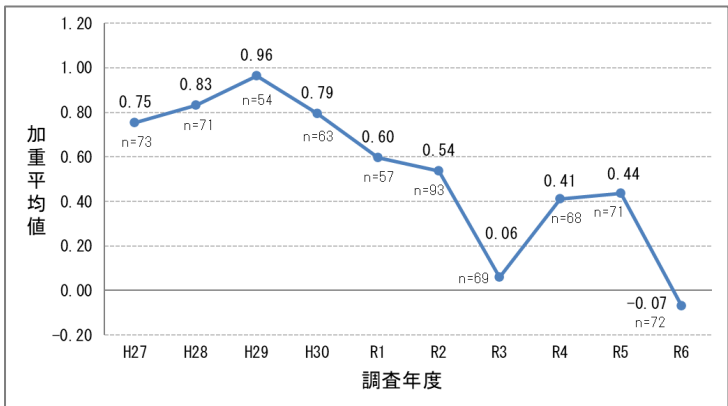


図1 回答者全体の総合満足度の推移（n：有効回答者数）

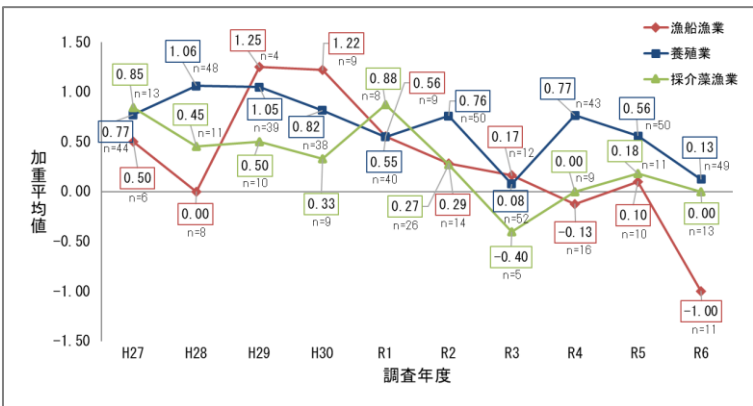


図2 漁業種類別の総合満足度の推移（n：有効回答者数）

3 総合満足度の構造分析

- ・個別満足度の評価項目（30項目）について、満足度と重要度の度合いから、「重点維持分野（重要項目）」、「維持分野」、「重点改善分野（課題項目）」、「改善分野」の4つに分類しました。
- ・今回の調査では、『重要項目』に6項目、『課題項目』に10項目が分類され、課題項目のなかでは特に、「将来への希望」、「共同生産への興味」、「収入水準」の順で優先的に改善が必要とみなされる結果となりました。

表1 総合満足度の要因

重点維持分野【重要項目】（満足度、重要度ともに高い分野で、強みとして維持すべき項目） 「やりがい」「生産物への誇り」「成長期待」「経営目標」「尊敬できる漁業者」「設備、機器」
維持分野（満足度は高いが、重要度は低い分野で、維持するとよい項目） 「責任感」「能力の活用」「継続意欲」「漁業者間の信頼」「地域とのつながり」「漁業秩序の維持」「漁業権行使」「漁協への信頼」
重点改善分野【課題項目】（満足度は低い、重要度が高い分野で、優先的に改善すべき項目） 「将来への希望」「共同生産への興味」「漁協への帰属意識」「仕事量、労働時間」「労働力」「生産環境」「単価水準」「評価基準」「収入水準」「努力の反映」
改善分野（満足度、重要度ともに低い分野で、改善は必要であるものの、優先順位としては低い項目） 「能力向上」「経営規模拡大」「後継者」「漁業就業者支援」「消費者とのつながり」「役割の発揮」

4 漁業種類別の個別満足度の分析

- (1) **漁船漁業**
・重要項目として「地域とのつながり」や「漁協への信頼」を含む4項目、課題項目として「能力向上」を含む12項目となりました。
・課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「収入水準」、「努力の反映」、「単価水準」となっています。
- (2) **養殖業**
・重要項目として「やりがい」や「能力の活用」を含む7項目、課題項目として「経営規模拡大」を含む10項目となりました。
・課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「共同生産への興味」、「将来への希望」、「漁協への帰属意識」となっています。
- (3) **採介藻漁業**
・重要項目として「責任感」や「漁協への帰属意識」を含む3項目、課題項目として「漁業就業者支援」を含む9項目となりました。
・課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「将来への希望」、「単価水準」、「生産環境」となっています。

表 個別満足度評価表（漁業種類別） ◎：重要項目、■：課題項目

要因区分	項目	漁業種類		
		漁船漁業	養殖業	採介藻漁業
仕事	やりがい		◎	
	将来への希望	■	■	■
	責任感		◎	◎
	能力の活用		◎	
	生産物への誇り		◎	
自己の成長	継続意欲			
	成長期待		◎	
	能力向上	■		
経営目標	経営目標		◎	
	経営規模拡大		■	
	共同生産への興味	■	■	
	後継者			
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者		◎	
	漁業者間の信頼			
	漁業就業者支援			■
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり	◎		
	消費者とのつながり	■		
	漁協への帰属意識	■	■	◎
漁協との関係	漁業秩序の維持			
	漁業権行使	◎		
	漁協への信頼	◎		
	役割の発揮	■		
労働条件	仕事量・労働時間		■	■
	労働力	■	■	■
	設備・機器	◎		◎
	生産環境	■		■
	単価水準	■	◎	■
収入	評価基準	■	■	■
	収入水準	■	■	■
	努力の反映	■	■	■
		■	■	■

まとめ

総合満足度は平成29年度をピークに低下傾向にあり、令和6年度の総合満足度は過去最低値となっています。総合満足度の構造分析では、就業に対する魅力である「重要項目」が6項目であるのに対し、就業に対する伸びしろである「課題項目」が10項目であり、「課題項目」の中でも、「将来への希望」、「共同生産への興味」、「収入水準」の順で、優先的に改善が求められています。

このため、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの分野別計画として、令和5年3月に「岩手県漁業担い手育成ビジョン（令和5～8年度）」を策定し、市町村や漁協、漁業関係団体と連携しながら、次代を担う意欲ある新規漁業就業者の確保・育成と地域漁業の中核となる強い漁業経営体の育成を推進し、漁業者の満足度の向上とともに、「なりわい」としての漁業の魅力の向上を図っていきます。